

猫を迎える前に…

脱走対策の徹底をお願いします。

猫が屋外に出ると事故に合ってしまったたり、迷子になったまま帰れなくなってしまうたり、その他のトラブルに巻き込まれる危険があります。好奇心旺盛な猫は隙をみて脱走しようと窓や玄関の隙間から飛び出してしまうこともあります。

迷子になった猫が自力で戻ってきたというお話を聞くこともありますが、かなり稀です。外に出た経験のない完全室内飼いの猫が、自分から家に戻る可能性はかなり低いといえるでしょう。人間が出入りする玄関や、換気や洗濯物を干す時に窓を開けた際など普段開閉する場所から愛猫が脱走しないよう日常的な対策が必要になります。

また、猫は本来、警戒心が強く、臆病な生き物です。地震などの自然災害や大きな物音(チャイム、サイレン、花火、近隣での突発的な出来事に伴う大きな音など)などいつもと違う状況に陥った時、普段はとても穏やかな子でも我を失いパニックになります。その際、お部屋の窓やガラス戸が網戸になっていた場合、窓や網戸に突進して屋外に逃げてしまう可能性があります。猫がパニックを起こすと俊敏な動きと物凄い力なので網戸など簡単に外れてしまいます。そういった突発的な出来事が起こった際の対策が必要になります。

2018年の大阪北部地震では、突然の地震に驚き網戸を突き破って逃げた猫がたくさんいます。そして、不幸にもお家に帰れず行方不明になったままの猫たちがたくさんいるのです。お家に帰りたくても帰ることもできず、力尽きたり、事故で亡くなってしまったり…「きっとどこかで誰かに拾われて生きている」なんて人間の勝手な都合のいい思い込みで現実はそんなに甘いものではありません。ただ言えるのは飼い主が脱走対策を怠っていたがゆえに亡くなった生命があるということ。

万が一の時に備えて脱走対策は徹底してください。

○玄関の二重扉

お部屋から玄関にたどり着くまでの空間(廊下など)に床から天井までのフェンスを取り付けて玄関に行けないようにすること。どれだけ気を付けて玄関を開けても猫が隙間から勢いよく飛び出していくのは一瞬です。特に60歳以上の高齢者や小さなお子さんがあるお家、家族の多いお家はかなりしっかりした対策が必要です。また、玄関に猫が行くことで、人間の靴裏に付着したウイルス、細菌、寄生虫の卵などを愛猫に移してしまう可能性があるため玄関には行かせない対策が必要です。



ポイントは床から天井までしっかりとした柵であること。
(猫が隙間を通れない、
簡単に壊れない、登れない)

玄関だけでなく、勝手口などの
屋外へ通じる全てのドアにも対策を！

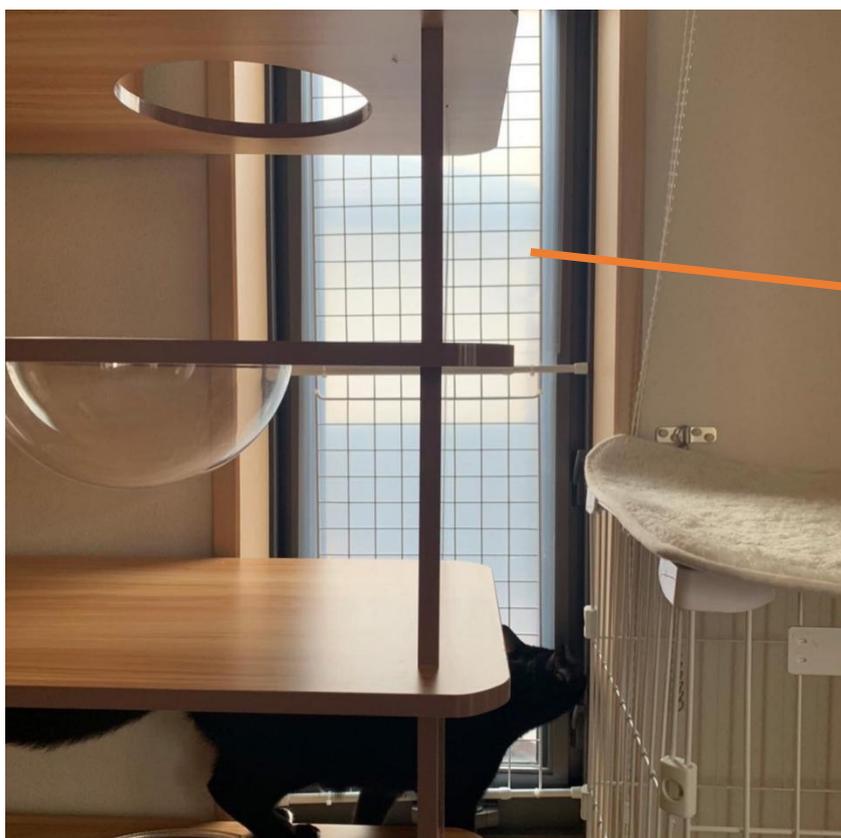
○お部屋の窓のフェンス

暑くなってきた際に開放する窓やガラス戸にはすべてフェンスを取り付けてください。



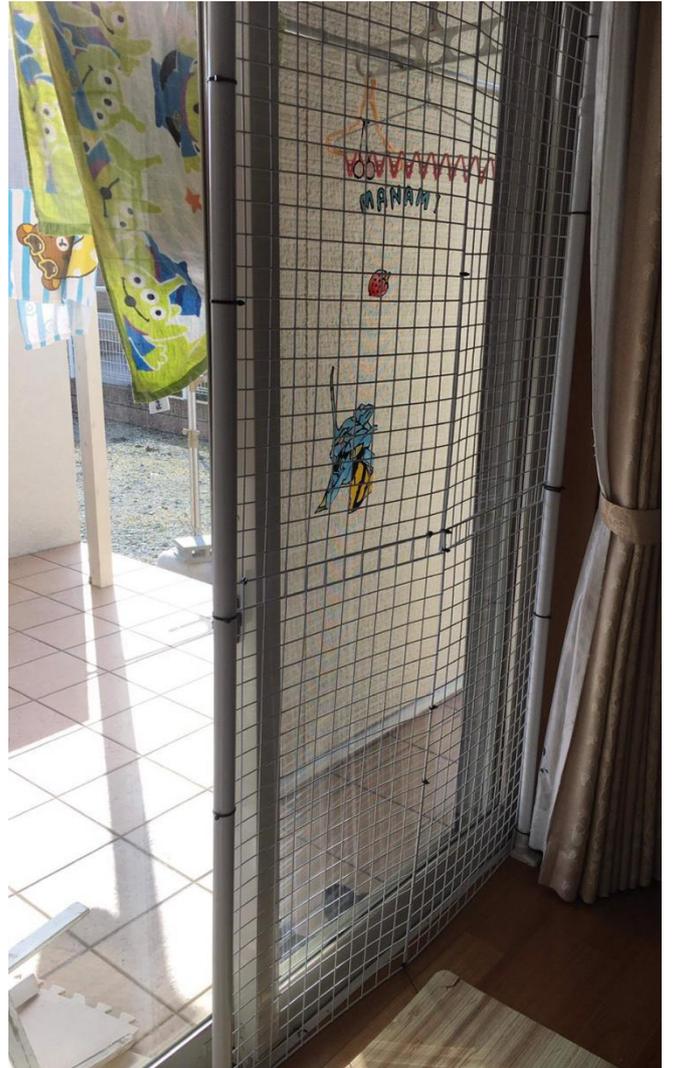
トイレやお風呂などの小さな窓は特に注意が必要です！

換気のために少しあけておくことも多いかとおもいますが、猫はその隙間を狙います。必ず網戸の前にフェンスやラティス等で対策をおこなってください。



洋灯(フック)や突っ張り棒とワイヤーネットを組み合わせて簡単に取り付けられます。

○大きな掃き出し窓にもフェンスを



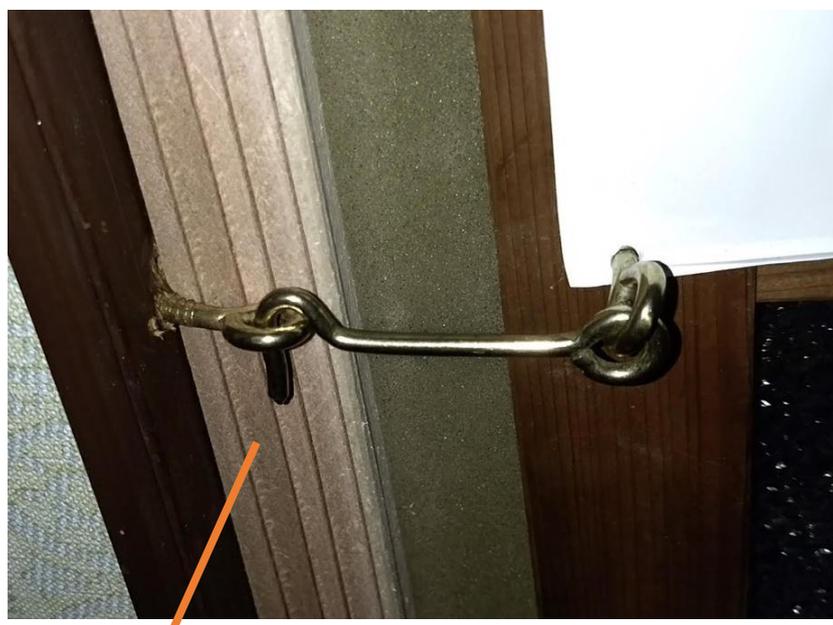
お部屋にある大きな掃き出し窓。

洗濯物を干す時や庭、バルコニーの出入りで開閉が多く、1番脱走の可能性が高いです。

必ずフェンスを取り付けて徹底した対策を行ってください。

「のぼれんニャン」という商品もオススメです。一度検索してみてください。

○猫に入られたくないキッチンや場所にも対策



フックで侵入防止

スライド式のドアや襖にはフックの取り付けがおすすめです

※トライアル前に脱走対策の確認をさせていただきます。